

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成28年10月19日
主管学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
P T A会長名	時任 文代

実施概要	主管校	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	進路に関する勉強会
	実施日時	平成28年7月23日(土) 午前9時50分～正午
	実施場所	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校 生活訓練棟「なかまの家」ホール
	実施目的	保護者が障害のある子どもの将来設計(就職・福祉就労・自立)について事例のもとに学ぶ 保護者が障害のある子どものきょうだい心理について事例のもとに学ぶ
	実施内容	きょうだいに障害者がいる方を講師に親の死後の経済生活, 成年後見人制度, 思春期のきょうだい心理について講話を聴いたり, 就職や福祉就労, 自立生活のために必要な準備, 心構えなどについて質疑応答を行ったりする。
	実施方法	きょうだいに障害者がいる本校職員や本校元職員を講師に講話を聴いたり, 事前アンケートを基に質疑応答を行い, 情報共有を行ったりする。
参加人数	保護者59人 職員21人 子供29人(プレイルームでのお預かりも含む) 計109人	

報告事項	内容	<p>9:30～ 受付 (受付後, 子どもは保護者と一緒にプレイルームに移動する。)</p> <p>9:50～10:00 開会のことば, 講師紹介</p> <p>10:00～11:30 テーマ「障害者がきょうだいにいるものとして」 講師: 山之口 和孝 教頭 内容「親亡き後の経済生活について」 講師: 上仮屋 祐介 教諭 内容「兄の成年後見人になって」 講師: 初村 多津子 教諭(筑波大学附属大塚特別支援学校) 内容「障害のある兄との関わり」</p> <p>11:30～11:50 質疑応答</p> <p>11:50～12:00 お礼のことば, 閉会のことば</p>
	結果	<p>当日は, 土曜日ということもあり父親の参加も多く見られた。また, きょうだい児の思いもテーマになっているためか, 数名のきょうだいの参加もみられた。当初の計画では, テーマ別のグループワークを実施する予定であったが, 少しでも詳しく話を聞きたい, どのテーマも興味深い内容だという意見を受け, 講話の時間を延長し, 全体で質疑応答をする形式に変更をした。</p> <p>ねらいのひとつであった就職や福祉就労, 自立生活のために必要な準備, 心構えなどについて知ることよりも, 家族としての思いや経済的な支援の在り方が話題の中心となってしまったが, 本人だけでなく親, きょうだいも含めた将来の生活に見通しをもつことができた点は非常に良かった。</p> <p>小さい頃から大人になるまでの心情の変化が経験に基づいて語られたことで, 小学生のきょうだいも心境の変化が見られたという報告もあった。</p>
	所感	<p>普段なかなか聞けない内容や将来に向けて考えなければならない内容など, 保護者のニーズと合った内容であったため参加者の満足度は高かった。次年度以降, 支援機関の方や卒業生の話を知りたいという希望が出ているので, 卒業生の就労先や支援機関の方なども一緒に来ていただき, 実際の生活や支援事例などについて講話をいただく機会の設定も可能と考える。また, 別の会で本校の実習などの取組を紹介したことで附属幼稚園のP T A役員から実習先のあっせんを受けた事例があるので, 他の附属学校園と連携を取ることで, 実習先や進路先の開拓にもつながると思われる。</p>

添付書類

- ・事前アンケート(保護者の質問に講師が答えたもの1人分)
- ・参加者アンケート
- ・進路に関する勉強会記録

進路に関する勉強会(当日の様子)



PTA会長挨拶



「親亡き後の経済生活について」



「兄の成年後見人になって」



「障害のある兄との関わり」



多くの保護者が参加



ビデオカメラを持参する保護者の姿も



質疑応答の時間は足りないくらい



3人の講師が丁寧に応答しました



講師の先生方の気持ちに感謝

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成28年10月19日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
学年	小4

本校児童生徒の参加者はいなかった（別室でお預かりの状態）。

※ 参考として

きょうだい児の中で、今回のことを機会に両親と兄（高1）のことについて話すことができ、障害のある兄のことを夏休みの宿題の作文に書いて提出したという事例の報告を受けた。その児童は、相模原の事件の報道を見て、怒り心頭となり「お兄ちゃんのことには私が守る。」と家族の前で宣言したらしい。

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成28年10月19日
学校名	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

保護者アンケートを集計したものは添付書類として提出しているが、アンケートを一部抜粋して参加者の感想に替える。

- ・ 一人一人の先生方の内容が今現在知りたいことばかりで感動の嵐でした。こんな素晴らしい研修会は参加したことがないというほど良かったです。3人の先生方の御両親にかわって「ありがとう！！」と感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- ・ 本校の先生方が、障害のあるきょうだいをおもちという、私たちに限りなく近い立場からの御講話でしたので、大変興味深く、勉強になったことは勿論、現状を前向きに捉えることができました。特に『親亡き後より、親ある今を楽しく大切に』のお言葉は、胸にとどめておきたいことで、また、漠然とした悩みでモヤモヤするときには、思い起こしたいと思います。講話は、更に先生方を近く感じるようになりました。ありがとうございました。初村先生も遠方から御来校いただき、嬉しかったです。
- ・ これから私たちが考えていけないといけないお金のこと、後見人制度のこと、入所のことなど、話をさせていただきとても勉強になりました。いろいろな話を聞いて、これから子供にどうしていったらいいのか考える良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・ 常に将来の不安をもっているながら、考えることにどこかストップをかけていたというか、考えたら不安になるだけなので避けていたところがあったのですが、そんなに不安になることもなく幸せにやっていけると思えたので、親亡きあとをどうするのか考え始めるきっかけができました。アンケートにも丁寧に答えていただきとても心にしみました。先生方には忘れていた気持ちや本音の心の奥の気持ちまでも語ってもらえたので、会が終わった後なんだか勇気が湧いてくる感じでした。本当にありがとうございました。